

睡眠時無呼吸症治療の 新しい潮流

それはマウスピースとシーパップの併用療法

2023年12月

すいみん医科歯科統合センターが提供する睡眠時無呼吸症治療の新しい潮流、すなわちマウスピースとシーパップの併用法を紹介します。

睡眠時無呼吸症の治療は、睡眠検査で無呼吸低呼吸指数（AHI）が20回／時以上ならばシーパップ（CPAP）という人工呼吸器が健康保険で患者に貸与されます。その基準に満たない場合はマウスピース治療が健康保険の適応になりますが、いびきや眠気は無頓着な患者は早期の治療を拒否、しばらく放置して、さらなる重症化を待ってCPAPを使うこととなります。

そうやってCPAPを使い始めても、鼻痛、鼻閉、鼻水、咳、ムセ、誤嚥などでうまく使えないことがあります。その場合は、CPAPを使いながら計画的にマウスピースを代用させ、安全確実にマウスピース単独治療に移行させることができます（交代併用）。CPAPで胸腔内圧が高くなると心臓のポンプ機能が抑制され中枢性のチェンストークス呼吸を生じることがあり、補助呼吸が可能なASVという特殊な装置が必要になります。ASVは高価でCPAPの約5倍の治療費を必要とするため、経済的に苦しい場合は従来のCPAPとマウスピースをいっしょに併用（同時併用）してASVに代用することもあります。

